

『立山ガイドによる登山道整備事業』

一般社団法人立山ガイド協会 佐伯高男

1 立山ガイド協会について

1921 年 立山案内人組合として設立

1990 年 立山ガイド協会として再結成

2022 年 一般社団法人立山ガイド協会に組織を改める

事業内容に登山道整備事業などを加える

2 登山道整備のきっかけ

雄山登山道・・・1990 年頃からの百名山・中高年登山ブームと小学校の立山登山

夏山シーズンになると一の越から頂上まで大渋滞が起きる

登山道の荒廃と複線化（事故の多発と植生への悪影響）

1992 年頃 皇室雄山登山が予定され登山道が整備されたが、その後は

山小屋関係者が少しずつ手直ししたが、抜本的な整備が必要と思い

行政にも要請はしたが断れた。

3 立山ガイドによる登山整備

2018 年 やまきふ共済会から登山道整備への寄付金を贈与

(山荘組合や雄山神社からも寄付を受ける)

ネパールからシェルパを招き整備事業を始める

1 期 一の越から三の越までの整備

シェルパの石工の技術を使い石段や登り下り専用登山道化

2019 年 2 期 三の越から頂上までの整備 (ネパールシェルパ 3 名)

一の越から頂上までが完全に登り下りが分けられ夏山シーズン渋滞も緩和された

2020 年 コロナのため中断

2021 年 立山黒部環境保全協会から「雷鳥沢周辺登山道整備業務」

を委託 雷鳥沢キャンプ場～大走り～真砂岳登山道整備

2022 年 立山黒部環境保全協会から「雷鳥沢周辺登山道整備業務」

「剣沢周辺登山道整備業務」委託

大汝から真砂岳登山道整備、平蔵の頭の整備

2023 年 立山黒部環境保全協会から「雷鳥沢周辺登山道整備業務」

「剣沢周辺登山道整備業務」委託

一の越から頂上までの登山道整備 平蔵の頭の整備

2024 年 立山黒部環境保全協会から「雷鳥沢周辺登山道整備業務」

「剣沢周辺登山道整備業務」委託

ネパールシェルパ 3 名を招き 一の越から四の越まで整備

平蔵の頭登山道整備

4 登山道整備の必要性

立山ガイドの登山道整備は ガイド業が忙しくない時期に行っています。時間と資金の都合で現地で入手できる岩や石を使い 登山道を歩きやすく崩れにくいようにしたり、導流溝の設置により登山道からの流水の排出をスムーズにしたり、岩にペンキでの道標を書いたり、比較的小さな作業が多い。このような作業を頻繁に実施することが登山道の荒廃を抑制するために必要と考えています。また立山ガイドはガイド業務などで登山道の状況を把握しやすいことから、整備事業を行う場所を決める際に意見を求められるケースが多い。一の越から頂上まで登り下りに分けたことにより落石、転倒事故、道迷いなどの遭難事故も減った。登山道整備は登山者の安全確保、自然環境への影響などにいろんなこと要素を含み持続する必要があります。







































